

エコアクション21 環境経営レポート

2021年度
(2021年10月～2022年9月)



作成日 2023年2月28日

株式会社 **福産**

目 次

1	組織の概要		P1～2
2	粕屋営業所処理工程図		P3
3	実施体制		P4
4	環境経営方針		P5
5	環境経営目標		P6
6	環境経営計画		P7
7	環境経営活動計画		P8
8	環境経営目標とその実績		P9
9	環境経営計画の実施評価と次年度の取組み		P10
10	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟などの有無		P11
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟などの有無		P12
12	環境経営計画に基づき実施した取組内容		P13
13	代表者による全体の評価と見直し・指示		P14

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 福産

【代表者氏名】 代表取締役 福田 泰貴

【所在地】 本 社 〒813-0035 福岡県福岡市東区松崎1丁目59番17号
粕屋営業所 〒811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原1791-1
温浴施設 〒820-0083 福岡県飯塚市秋松848

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者 星田 基玄

連絡先担当者 東 優美

連絡先 TEL: 092-710-5480

FAX: 092-710-5481

E-MAIL: azuma@f-2930.com

HPアドレス: <http://www.f-2930.com/>

【事業活動の内容】

事業活動 産業廃棄物の収集・運搬及び処分(中間処理)
建設業(解体工事業)

【公衆浴場】

公衆浴場・飲食店の経営

【事業の規模】 法人設立年月日 2005年 2月 2日

資本金 300万円

売上高 51,740万円

社員数 7人

敷地面積 1,775 m²

処理量 3,381.14 t

【事業年度】 10月～9月

【認証・登録の対象範囲】

1. 事業活動

産業廃棄物の収集・運搬及び処分(中間処理)

建設業(解体工事業)

2. 対象事業所

本社

粕屋営業所

※なお、温浴施設は2024年に認証登録範囲を拡大する見込みです。

組織の概要(2)

3. 産業廃棄物処理業の情報公開項目

①産業廃棄物処理業における施設等の状況

・収集運搬車両

車種	台数	備 考
4tアームロール車	3台	
4tクラム車	1台	
4tダンプ	2台	
2tダンプ	1台	
合計	7台	

・中間処理(選別)施設 処理能力 9.9t/日(8時間)

処理前保管量	処理後産業廃棄物	ガラスくず等 保管量	ガラスくず等保管量 (廃石膏ボード)	がれき類保管量	木くず保管量	混合廃棄物保管量
116m ³ 以内	各1m ³ 以内	31.9m ³ 以内	9.4m ³ 以内	24.4m ³ 以内	35.9m ³ 以内	31.1m ³ 以内

・中間処理(破碎)施設 処理能力 t/日(8時間)

廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類
3.71t	2.83t	4.54t	0.7t	3.83t	4.33t	4.71t	4.8t

②許可の状況

【産業廃棄物収集運搬業許可】

県	産業廃棄物収集運搬業許可証	許可の年月日	許可の有効年月日
福岡県	第04000123817号	平成31年1月27日	令和6年1月26日
佐賀県	第04101123817号	平成31年1月22日	令和6年1月21日
大分県	第04407123817号	平成30年12月13日	令和5年12月12日
長崎県	第04200123817号	令和2年1月9日	令和7年1月8日
熊本県	第04305123817号	平成31年2月13日	令和6年2月12日
山口県	第03500123817号	令和2年1月5日	令和7年1月4日
許可品目(全県共通)			
詰替え、保管を含まない。 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については、自動車等破碎物を除く。)、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、 廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鋳さい、がれき類、ばいじん(廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を含む。)(廃プラスチック類、金属くず、ガラス クズ等については、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)(燃え殻、汚泥、廃酸、廃アルカリ、鋳さい、ばいじんについては、 水銀含有ばいじん等を含む。)以上16品目			

【産業廃棄物処分業許可】

県	産業廃棄物処分業許可証	許可の年月日	許可の有効年月日
福岡県	第04020123817号	令和4年8月9日	令和11年8月8日
中間処分			
中間処理(選別・破碎):廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については、自動車等破碎物を除く) 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類 以上8品目			

【建設業許可】

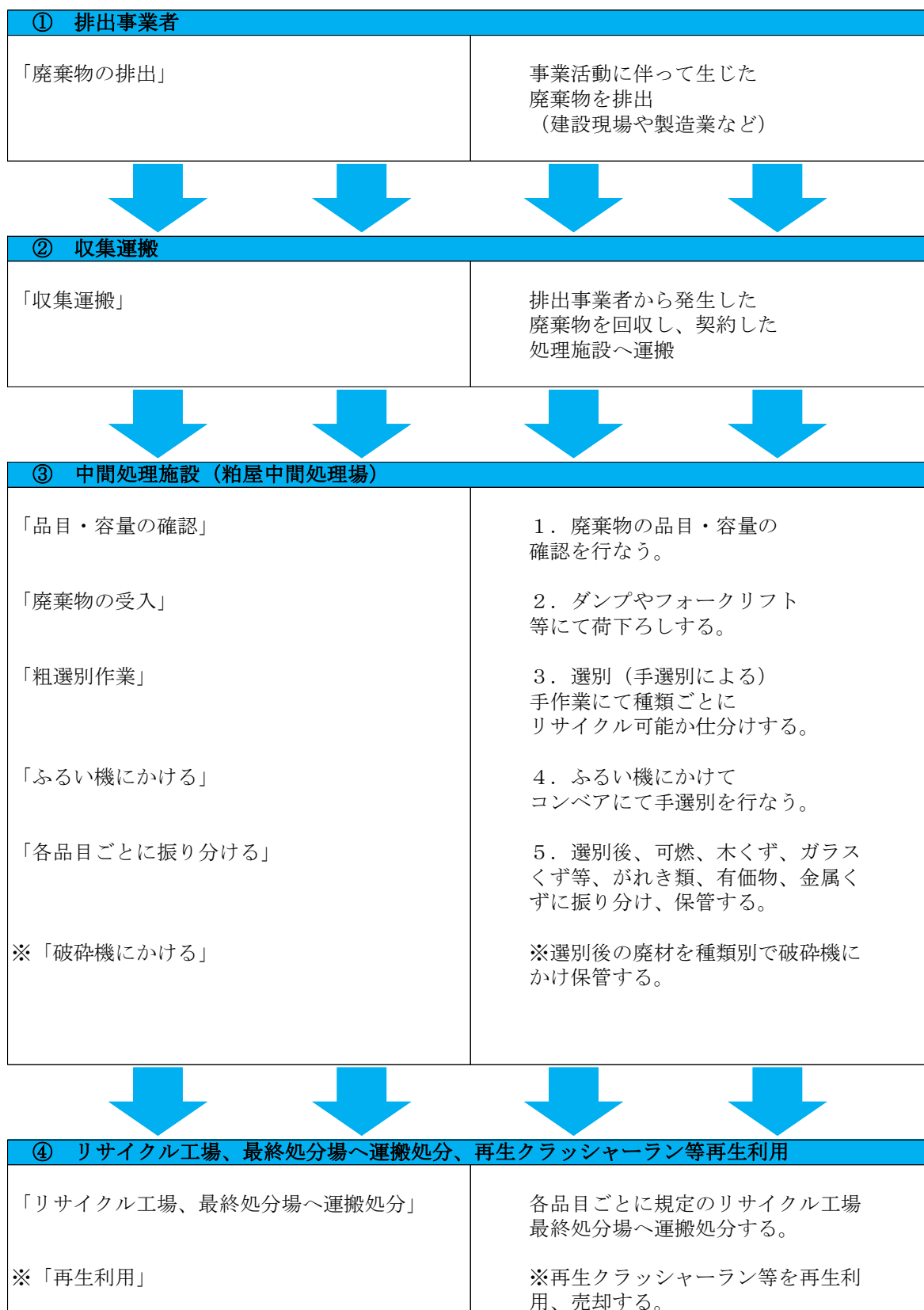
県	許可番号	許可の有効期限	建設業の種類
福岡県	福岡県知事許可(般-3)第109615号	令和3年5月31日～令和8年5月30日	とび・土工工事業
福岡県	福岡県知事許可(般-3)第109615号	令和3年5月31日～令和8年5月30日	解体工事業

③産業廃棄物の処理実績

受託した廃棄物処理量 (2021年10月～2022年9月)

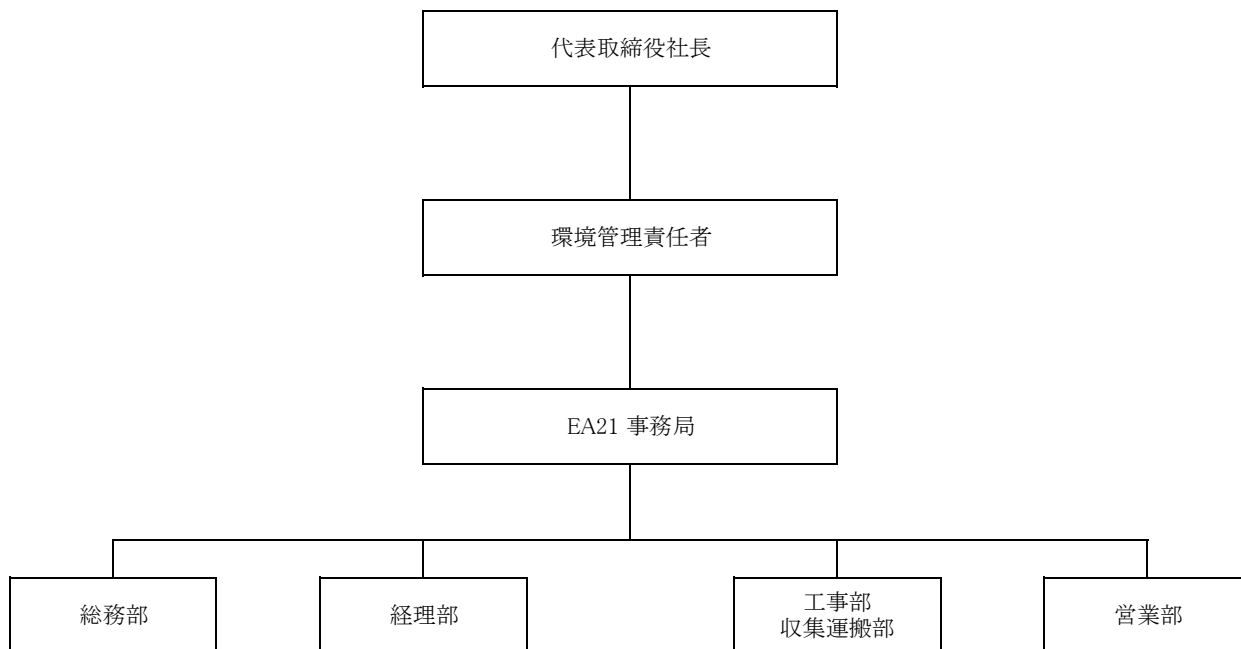
産業廃棄物収集運搬量	1529.06		
産業廃棄物中間処理量	3381.14	うち再資源化量	1054.36

【粕屋中間処理場】



2. 実施体制

実施体制の構築



所属	役割・責任・権限
代表者	● 代表者として環境経営全般について責任と権限 ● 経営における課題とチャンスの明確化 ● 環境経営方針を作成・見直し、社内周知 ● 環境管理責任者、EA21事務局を任命 ● 環境への取組みを実施するためのリソース確保 ● EA21全体の取組状況に関し評価、見直し実施
環境管理責任者	● 要求事項を満たす環境経営システムの構築、実行、環境実績の向上 ● 毎年、環境経営目標、環境経営計画の作成 ● 1／3月に1回環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価 ● 上記結果を代表者へ報告
EA21 事務局	● 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理 ● 社外からの環境情報の収集と伝達
全従業員(営業部、工事事務部、収集運搬部、経理部、総務部)	● 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ● 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

環境経営方針

[環境経営理念]

当社は、企業理念の「『環境』と『人』にやさしく、心をこめたサービスを。」に基づき、本業である産業廃棄物処理業(収集運搬、中間処理)、解体工事業を通じて、地球温暖化問題への取組み及び循環型社会の形成に貢献し、地域の環境活動に自主的、積極的に取組みます。

[基本方針]

- 1 環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、総排水量の削減、受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上に努めます。
 - (1) 電力、燃料等の省エネルギー活動の推進で、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) リサイクル向上に努め、産業廃棄物排出量を削減します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 受託した産業廃棄物の再資源化を促進します。
 - (5) 建設廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
- 2 環境関連法規等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守します。
- 3 環境経営の継続的改善
廃棄物処理業の取組みを中心に環境経営の継続的改善を行ないます。
地域とのコミュニケーション推進
環境経営レポートの公開

社内においては、全従業員に、この環境経営方針及び必要事項を周知し全社員参画による取組みを展開します。

なお、温浴施設(嘉穂の湯)は2020年11月から負荷の把握と環境活動の取組みを開始し、2024年に認定登録範囲を拡大する見込みです。

制定日 2020年 10月 26日
株式会社 福産
代表取締役 福田泰貴

4. 環境経営目標

運用期間 2021年10月1日～2022年9月30日

	単位	基準年 2020年度	目標				
			2021年度(1.5%削減)		2021年度 (1.5%)	2022年度 (1.75%)	2023年度 (2%)
			運用期間	年間			
			2020/10～2021/9	2021/10～2022/9			
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	372,873.23	375,018.88	367,280.13	367,280.13	366,347.95	365,415.77
電気使用量	kWh						
本社	kWh	-	-	-	-	-	-
粕屋営業所/工場	kWh	10,028.50	9,325.00	9,878.07	9,878.07	9,853.00	9,827.93
建設現場	kWh	261.84	250.00	257.91	257.91	257.26	256.60
ガソリン使用量	ℓ						
本社	ℓ	-	-	-	-	-	-
粕屋営業所/工場	ℓ	7,703.44	9,239.88	7,587.89	7,587.89	7,568.63	7,549.37
建設現場	ℓ	654.60	3,277.51	644.78	644.78	643.14	641.51
軽油使用量削減	ℓ						
本社	ℓ	-	-	-	-	-	-
粕屋営業所/工場	ℓ	42,797.60	48,760.56	42,155.64	42,155.64	42,048.64	41,941.65
建設現場	ℓ	92,224.89	83,482.72	90,841.52	90,841.52	90,610.95	90,380.39
廃棄物排出量の削減	t						
一般廃棄物	kg	240.00	216.00	236.40	236.40	235.80	235.20
産業廃棄物	t	11,638.68	17,977.76	11,464.10	11,464.10	11,435.00	11,405.91
水使用量の削減	m ³						
本社	m ³	-	-	-	-	-	-
粕屋営業所/工場	m ³	162.00	132.00	159.57	159.57	159.17	158.76
建設現場	m ³	112.00	110.00	110.32	110.32	110.04	109.76
受託した産業廃棄物の収集運搬・ 処分における環境配慮に関する項目							
排出事業者への分別依頼	%	82.31	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
再資源化推進	%	25.03	25.40	25.40	25.40	25.46	25.53
有価物化推進	%	17.79	18.05	18.05	18.05	18.10	18.14

※本社は住宅を登記しており、事業所として電力・ガソリン・軽油・上水等の負荷発生及び上水等の使用と費用負担はありません。

※PRTPに該当する化学物質及び危険物の保管はありません。

5. 環境経営計画

環境経営計画(2021年度)

1. 二酸化炭素排出量削減

取組目標		達成手段		スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
1	電気使用量の削減(全社全組織)	1	エアコン設定温度を決め、実行する	←	→	←	→
		2	不要な照明の消灯	←	→	←	→
2	ガソリン使用量の削減(産廃、解体)	1	適切ルートを選定	←	→	←	→
		2	エコドライブ、法定速度の厳守	←	→	←	→
3	軽油使用量の削減(産廃、解体)	1	車輛の定期点検と週1回の空気圧点検の徹底	←	→	←	→
		2	不要なアイドリングの禁止	←	→	←	→

2. 廃棄物排出量

取組目標		達成手段		スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
1	一般廃棄物排出量の削減(全社全組織)	1	グリーン購入促進	←	→	←	→
		2	ペーパーレス化推進	←	→	←	→
2	産業廃棄物排出量の削減(産廃、解体)	1	再資源化率向上	←	→	←	→

3. 水使用量の削減

取組目標		達成手段		スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
1	水使用量の削減(全社全組織)	1	不要な散水の禁止	←	→	←	→
		2	節水の周知徹底	←	→	←	→

4. 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目

取組目標		達成手段		スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
1	排出事業者への分別依頼(産廃)	1	説明資料の作成				
		2	委託契約時の際に交付	←	→	←	→
2	再資源化推進	1	再資源化物の選別の徹底	←	→	←	→
3	有価物化推進	1	有価物の選別の徹底	←	→	←	→

6. 環境経営活動計画

文書類	活動内容	備考	活動時期(月)											
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑭	「代表者による全体の評価と見直し」の実施		●											
①	「環境経営方針」の改正	代表者が必要と判断した時	●											
②	「環境負荷の自己チェック」		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
③	「環境取組の自己チェック」	(2年目からは必須ではない)	●											
⑤	次年度の「環境経営目標」の策定		●											
⑥	次年度の「環境経営計画」の策定		●											
⑮	「環境経営レポート」の作成・公表・地域事務局への発出		●											
-	「手順書」により運用(必要であれば作成)	毎日												
⑪	「環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況、およびその評価結果」の実施	確認は毎月、評価は3ヶ月毎	●	●	● 評価	●	●	● 評価	●	●	● 評価	●	●	● 評価
⑬	「是正及び予防措置」の実施・記録	評価で問題が発生した時												
④	「環境関連法規等の取りまとめ」の最新化	必須:遵守状況確認に先立って												●
⑫	「環境関連法規等の遵守状況」の確認・評価	順次:法制度見直しの都度												●
⑨	「緊急事態対応策」の改訂				●									
⑩	「緊急事態対応策」の試行及び訓練				●									
⑦	「実施体制」の改訂	必要に応じて												
⑯	「環境教育訓練」の計画		●				●						●	
⑧	「苦情・要望等」の受付・対応・記録	随時												

7. 環境経営目標とその実績

目標値は、2020年10月～2021年9月実績値合計の1.5%減とした。

実績値は、2021年10月～2022年9月実績値(運用期間)の合計。

項目	単位	目標値	実績値	達成度	評価
電力、ガソリン、軽油使用量削減による二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	367,280.13以下	373,713.38	98.25%	△
電力使用量削減 営業所	kWh	9,878.07以下	9,325.00	105.60%	○
ガソリン使用量削減 営業所	ℓ	7,587.89以下	9,239.88	78.22%	×
建設現場	ℓ	644.78以下	3277.51	0.00%	×
軽油使用量削減 営業所	ℓ	42,155.64以下	48,760.56	84.33%	×
建設現場	ℓ	90,841.52以下	83,492.72	108.09%	○
廃棄物排出量削減 一般廃棄物	kg	236.40以下	269.30	86.08%	×
産業廃棄物	t	11,461.10以下	15,621.85	63.70%	×
水使用量削減 営業所	m ³	159.57以下	132.00	117.27%	◎
建設現場	m ³	110.32以下	189.00	28.68%	×
受託した産業廃棄物の 排出事業者への分別依頼	%	100.00以上	100.00	109.06%	○
収集運搬・処分における 再資源化推進	%	25.40以上	28.41	118.50%	◎
環境配慮に関する項目 有価物化推進	%	18.05以上	31.18	127.25%	◎

※電力使用による二酸化炭素排出量は、九州電力の2019年度二酸化炭素調整後排出係数(0.371kg-CO2/kWh)を用いて算出している。

①削減目標の場合 $((\text{目標}-\text{実績})/\text{目標}) \times 100\%$

②増加目標の場合 $((\text{実績}-\text{目標})/\text{目標}) \times 100\%$

評価記号 ◎:達成度 110%以上 ○:達成度 100%～110%未満

△:達成度 90%～100%未満 ×:達成度 90%以下

①現場件数が増えた事で軽油使用量が増え、発電機を使用する現場が増えた事でガソリン使用量も増えている。

今後は電力及びガソリン、軽油削減に努める。

②事務所からの廃棄物排出量は、減少している。今後は、再資源化率、有価物化率向上に努める。

③不要な散水禁止、雨水再利用で使用量は減少している。引き続き徹底していく。

項目	運用期間12ヶ月の合計
電力使用量 kWh	9,364.30
ガソリン使用量 ℓ	12,517.39
軽油使用量 ℓ	132,253.28
廃棄物排出量 t	17,977.76
水使用量 m ³	242.00

8. 環境経営計画の実績評価と次年度の取組み

2020年11月～2020年9月の試行期間の実施評価結果及び今後の取組みを記載

評価 : ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境経営活動計画	評価	活動結果と次年度の取組み
(1) 二酸化炭素排出量の削減（電気、ガソリン、軽油の削減）	△	目標値達成度 98.25 % 電気、ガソリン、軽油の使用量削減に 引続き取り組んでいく。
①エアコン設定温度を決め、実行する ②不要な照明の消灯 ③最短距離ルートを優先する ④エコドライブ、法定速度の厳守 ⑤車輛の定期点検と週1回の空気圧点検 ⑥不要なアイドリングの禁止	◎ ◎ ○ ○ ○ ○	エアコンの適正温度での運転、不使用箇所の 電気の消灯の徹底は実施できている。 エコドライブ、アイドリングストップの徹底は 定着してきた。 引続き環境経営計画を実施して、電気、 ガソリン、軽油使用量削減を図る。
(2) 廃棄物排出量の削減（一般、産業、食品廃棄物の削減）	× ×	一般廃棄物 目標値達成度 86.08 % 産業廃棄物 目標値達成度 63.70 %
①グリーン購入促進 ②ペーパーレス化推進 ③再資源化率向上	◎ ○ ○	引続き、OA用紙は環境配慮商品を優先購入。 業務内容の見直しを図り、ペーパーレス化推進 と、裏紙使用でOA用紙削減に努めている。
(3) 水使用料の削減	◎ ×	営業所 目標値達成度 117.27 % 建設現場 目標値達成度 28.68 %
①不要な散水の禁止 ②節水の周知徹底	◎ ○	定期的に朝礼での節水教育を実施していく。 散水の節約をし、排水量の削減に努める。
(4) 受託した産業廃棄物の収集運搬、処分における環境配慮	◎	目標値達成度 118.50 %
①説明資料の作成 ②委託契約時の際に交付	○ ○	説明資料作成済み。 引続き委託契約の際に交付していく。

経営上の課題とチャンスの明確化(SDGs取組状況)

経営上の課題とチャンスと明確化するため、弊社の環境取り組みをSDGsに当てはめ、現状を可視化しました。

★SDGsとは…
誰もが同じように、
幸々に長く暮らせる
社会を目指した行動計画

 地球・世界への影響が大きい取組み
 SDGsの中で取組が少ない部分

SDGs 17の目標			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	地球・世界へ与えている項目を
SDGs 17の目標			1.貧困をなくそう	2.飢餓をゼロに	3.全ての人に健康と福祉を	4.質の高い教育をみんなに	5.ジェンダー平等を実現しよう	6.安全な水とトイレを世界中に	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8.働きがいも経済成長も	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	10.人や国の不平等をなくそう	11.住み続けられる街づくりを	12.作る責任 使う責任	13.気候変動に具体的な対策を	14.海の豊かさを守ろう	15.陸の豊かさを守ろう	16.平和と公正を全ての人に	17.パートナーシップで目標を達成しよう	
環境目標項目			経済的平等 脆弱性軽減 人/災害/国 他	飢餓の 栄養改善/ 食品ロス削減/ 持続可能な農業	出産/薬物 病/交通事故 感染症 有害物質 大気/水/土	平等な学び 技能/訓練 国/人/性 他	性別自由 自由に挑戦 分け隔てなく	化学物質 汚染防止 山/森/河/海 衛生/排水	エネルギー の効率UP/ 再生可能な エネルギー/ バイオマス他	働き甲斐 経済成長 生産性向上	産業と 技術革新	不平等をなく す社会保障/ 社会的地位 賃金/人/国 性 他すべて	住み続け られる街づく り /大気汚染 防止	天然資源 大気 廃棄物 災害リスク	気候変動 具体的対策	海洋汚染 海洋資源 生物多様性 生物系保全 科学的 知識向上	砂漠化/洪水 /森林/湿地 回復/生物多 様性/生態系 保全/地域ミ ニユティで保護	暴力/虐待 搾取/犯罪/ 汚職/包摂的 な意思決定 /平等な司法 ,透明性	社会/企業/他 パートナーと実行 資金/政策/親 明責任/グローバ ル/技術/SDGs 団体所属/募金	
実践事項																				
CO2 排出量 の削減	電気 使用量の削減	【事務所】 ①エアコン設定温度の徹底(夏26℃・冬22℃) ②不要な照明の消灯の徹底 ③パソコンの省エネ設定							7						13					2
	ガソリン 使用量の削減	【事務所】 ①車輛の省エネ運転の推進 ②車輛の適正な点検整備 ③効率的な業務の徹底 (外出はまとめ、適切ルートの選定) 【工場・現場】 ①車輛の省エネ運転の推進 ②車輛の適正な点検整備 ③建設機械の省エネ運転の推進 ④建設機械の適正な点検整備			3				7				11	12	13					5
	軽油 使用量の削減	④適切な車間距離確保の徹底 ⑤効率的な業務の徹底 (外出はまとめ、適切ルートの選定) ⑥適切な車間距離確保の徹底																		
	LPGガス 使用量の削減	【温浴施設】 ①熱交換を利用してボイラー使用量の削減 ②蒸気ボイラーバルブの調整による使用量削減			3				7				11	12	13					5
産業廃棄物の リサイクル率維持		【工場・現場】 ①廃棄物の分別徹底 ②産廃マニフェストの発行、適正な管理 ③リサイクル活動の推進			3			6					11	12	13	14	15			7
一般廃棄物の削減		【事務所】 ①廃棄物分別の徹底 ②ミスプリント、コピーの削減 ③裏紙使用/両面/集約印刷の推進 ④ペーパレス化推進 【工場・現場】 ①電子納品の推進 ②3S(整理・整頓・清掃)の推進												12	13	14	15			4
水資源 使用量の削減		【事務所、工場、現場】 ①節水の徹底 ②雨水タンクの利用 ③不要な散水の禁止 【温浴施設】 ①節水の徹底 ②補給水時間管理の徹底						6								14				2
グリーン購入の推進		【事務所】 ①事務用品はグリーン商品を優先的に購入												12			15			2
環境に配慮した提案		【工場・現場】 ①分別解体の徹底 ②取引先に廃棄物分別の提案			3			6	7	8	9		11	12	13	14	15			10
環境安全 取組実施 の向上	地域ボランティア	【EA-21委員会】 ①地域ボランティア活動参加																	17	1
	社員への 教育訓練	【EA-21委員会】 ①環境教育実施 ②緊急時対応訓練実施 ③環境レポート活用				4														1
該 当 数 (自社取組状況)			0	0	4	1	0	3	4	1	1	0	4	6	6	4	4	0	1	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【環境関連法】

当社に適用される環境関連法規制等と遵守状況

適用される法規等	遵守すべき要求事項	遵守・評価
廃棄物処理法	・収集運搬、処分業者との適切な契約 ・産業廃棄物管理表(マニフェストの管理) マニフェストを発行しA表は5年間保存 B2、D票が90日、E票が180日以内に返却が無い場合、又は虚偽記載の場合は30日以内に知事に報告 ・産業廃棄物多量排出事業者としての知事報告 産業廃棄物処理計画書、産業廃棄物処理計画実施状況報告書 ・保管場所には掲示板を設置 ・一般廃棄物の収集運搬はなし	○
建設リサイクル法	・分別解体実施、再資源化の実施義務の遵守 ・発注者への報告義務の遵守 ・県知事への報告	○
騒音規制法	・特定建設作業の届出 ・適用指定区域内の作業敷地境界にて85デシベル以下の遵守	○
オフロード法	・基準適合機械の使用 ・点検整備を行ない、適正な排出ガス性能の維持 ・適正燃料の使用	○
家電リサイクル法	・新しい製品と買い換えた場合、及び使わなくなった製品を処分する場合の適正処理	○
大気汚染防止法	・特定粉じん排出等作業の実施の届出 ・解体等工事に係る調査及び説明等 ・作業基準の遵守義務 ・発注者の配慮	○
労働安全衛生法	・石綿障害予防規則	○

違反、訴訟等の有無

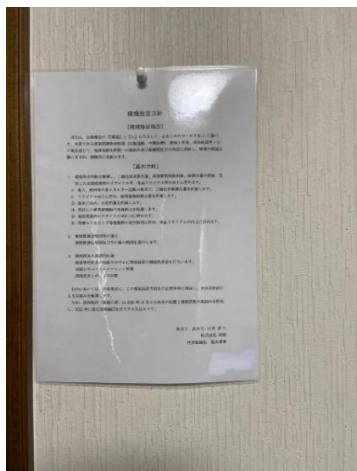
関係機関からの苦情、指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

12. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

本社事務所内①



本社事務所内②



営業所事務所内



エコアクション21説明



営業所事務所内電気



営業所事務所内エアコン



営業所工場内水道



営業所工場内電灯



車両内



13. 代表者による全体の評価と見直し及び指示

項目	内容		
見直し実施日	2022年10月28日(金)		
出席者	代表取締役社長、環境管理責任者、担当者		
報告した情報	(1)環境経営目標の達成状況 (2)環境経営計画の実施及び運用結果 (3)環境関連法規等の遵守状況 (4)外部からの環境に関する苦情や要望 (5)その他		
代表者の評価	2年間の活動で、定着してきている事は間違いないが、年間を通しての工事件数アップ、収集件数アップに伴い目標達成出来なかった事は致し方ない。引き続き目標達成に向けて邁進していきたい。		
見直し結果	見直し項目	変更の有無	代表者の支持内容
	(1)環境経営方針	無し	方向性に間違いはないので、引き続き同じ経営方針でやっていく。
	(2)環境経営目標及び環境経営計画	有り	年々工事件数が増加していく中で、策定した目標計画を変更して、業務に無理が行かないよう目標設定の見直しが必要である。
	(3)実施体制	無し	現在の体制を維持する。
	(4)その他の環境経営システム等	無し	今期の1年間を通して、解体現場、収集件数が上がった事で目標達成には至らなかったが目標設定の見直しも含め、引き続き継続して取り組んでいく。
総括	今回エコアクション21に取り組むべく環境経営方針、環境経営目標を定め、全員で取り組んできました。収集繁忙期や工事内容等の兼ね合いで残念ながら目標未達成の項目もありましたが、継続して活動し、業務と環境を考慮して実行できるように、更なる意識の向上と実践を継続していきたい。		